

Creative Network 実行委員会

歴史を生かした まちづくりの展示

2021年12月7日 [火] ~12日 [日] 11:00~19:00 料金:¥300

BankART Station (横浜市西区みなとみらい5-1 新高島駅B1F)

主催: Creative Network 実行委員会

助成: 文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

旧富士銀行横浜支店 [元安田銀行横浜支店]



所在地: 横浜市中区本町4-44
建築年代: 1929年 [1953年増築]
設計: 安田銀行営繕課 施工: 大倉土木

ルステイカ積みの外壁にドリス式オーダーの付柱と半円形窓。安田銀行は大正末から昭和初期にかけて、ほぼ同じスタイルで各地に支店を建てているが、これはそのなかでも最大規模かつ、希少な現存例。
横浜市認定歴史的建造物

横浜税関本関庁舎



所在地: 横浜市中区海岸通1-1
建築年代: 2003年改修及び増築 [旧建物は1934年]
設計: 香山・アプル設計JV [旧建物は大蔵省営繕管財局工務部] 施工: 戸田・銭高工事JV [旧建物は戸田組]

「クイーン」の愛称で親しまれている港ヨコハマのシンボル。建物は税関らしく正面を港に向けており、歴史的建造物の大半を残した改修及び増築工事が平成15年に完成。
横浜市認定歴史的建造物

旧横浜正金銀行本店本館 [神奈川県立歴史博物館]



横浜市中区南仲通5-60
建築年代: 1904年
設計: 妻木頼黄 施工: 逸藤於免

関東大震災前の横浜の経済的繁栄を象徴する建物で、妻木頼黄(赤レンガの設計者でもある)の代表作のひとつ。
国重要文化

神奈川県庁本庁舎



所在地: 横浜市中区日本大通1
建築年代: 1928年
設計: 小尾嘉郎 施工: 大林組

スクラッチタイル張りの外壁と中央の高塔が特徴的で、その塔は「キング」の愛称で親しまれている。
国登録文化財

横浜銀行協会 [旧横浜銀行集会所]



所在地: 横浜市中区本町3-28
建築年代: 1936年
設計: 大熊喜邦・林豪蔵 施工: 清水組

アールデコやF・L・ライトの影響を受けたと思われるファサードのデザインが巧みなうえ、細部のテラコッタの装飾もまた秀逸でまことにシックなデザインである。

旧横浜市庁舎



七代目横浜市庁舎の行政棟と市会1号棟が竣工したのは1959年。その後、市会2号棟、同3号棟、中庭棟を段階的に増築してきた。このうち行政棟と市会1号棟は、指名設計競技で選んだ村野・森建築事務所が設計した。2019年9月4日、新市庁への移転後、活用事業者を決める公募型プロポーザルで三井不動産を代表とするグループが選出され、この行政棟は保存活用され、星野リゾートがホテルと商業施設を設ける予定。

横浜市は、開港以来、独自の文化が生まれ、個性ある街並みがつくられてきました。市は昭和63年に「歴史を生かしたまちづくり要綱」を定め、関内地区や山手地区にある歴史的建造物をはじめ、郊外区の古民家や土木産業遺構など、多くの歴史的建造物の保存活用を図っていくしくみを整えてきました。これまで認定歴史的建造物は94件となり、市民に開放された拠点として活用され、地域のランドマーク施設として、街並みを形成しています。

赤レンガ倉庫 [1号倉庫及び2号倉庫]



所在地: 横浜市中区新港1-1
建築年代: 1号倉庫1913年/2号倉庫1911年
設計: 大蔵省臨時建築部(部長: 妻木頼黄)
施工: 1号倉庫 原木仙之助/2号倉庫 直営

当時の最先端技術を使い、鉄と煉瓦がみごとに組み合わせられた構造で、我が国の主要な煉瓦造建築のひとつ。
横浜市認定歴史的建造物

横浜市開港記念会館 [旧開港記念横浜会館]



横浜市中区本町1-6
建築年代: 1917年
設計: 福田重義 施工: 斎藤平左衛門/清水組

高塔は、「ジャック」の愛称で親しまれている。関東大震災で内部を消失したが、RCの柱梁を入れて復元、昭和63年には屋根を復元して現況の姿となった。
国重要文化財

この展示会では、これまであまりまとまった成果物を発表することのなかった「歴史を生かしたまちづくり」の具体的な案件と経緯をわかりやすく説明し、市民に改めてその価値を感じていただければと思います。行政からはじまり、行政を超え、市民が育んできた「都市の経験」を深く検証してみたいと思います。

開港記念広場



横浜開港資料館

日本大通り駅から大さん橋へ向かう途中にある「開港記念広場」。整備された広場と木陰のこの広場は、1854年に江戸幕府とアメリカ合衆国が締結した「日米和親条約締結」を調印、締結した場所だ。隣接する「横浜開港資料館」は1931年に元英国領事館として建てられた建物。幕末から昭和初期にかけての横浜の歴史や文化に関する資料を25万点以上揃える。中庭には江戸時代から受け継がれている「たまくすの木」が佇む。



所在地: 横浜市中区本町6-50-1
建築年代: 1995年曳家/2003年復元 [旧建物は1929年]
設計: 都市基盤整備公団神奈川地域支社・損総合計画事務所 [旧建物は西村好時、清水組設計部]
施工: 竹中・清水・戸田JV [旧建物は清水組]

日本近代様式建築完成期の建物で、三角形の敷地を巧みに生かし、先端にトスカナ式オーダーの列柱を並べた半円形のバルコニーを持つ特色ある建築である。平成7年にバルコニー部分を曳家した後、横浜アイランドタワーの高阻棟と接続する形で復元された。
横浜市認定歴史的建造物



1929年当時の内部



曳家の様子

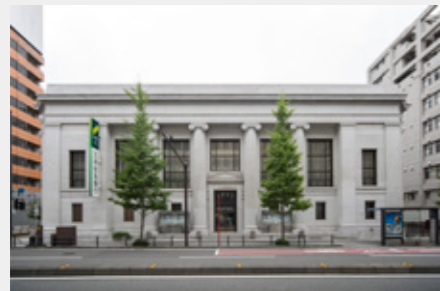
露亜銀行横浜支店



所在地：横浜市中区山下町280番地
建築年代：1924年（改築2011年）
設計：Bernard Michael Word 施工：五洋建設（改築）

本ビルが建設されたのは煉瓦造りから鉄筋コンクリート構造へと移り変わる過渡期であり、両構造が混在する。パロック様式の建物をコンクリート造で建設した初期のものと考えられ、横浜で最後に建設されたパロック建築である。他の銀行建築に比べ、個々の装飾が大きい点が特徴的である。
横浜市指定有形文化財

三井住友銀行横浜支店 [旧三井銀行横浜支店]



所在地：横浜市中区本町2-20
建築年代：1931年
設計：トロウブリッジ&リビングストーン建築事務所
施工：清水組

設計は当時のアメリカの名門事務所で三井本館も担当しており、この建物はいわば三井本館の縮小版。

根岸競馬場



横浜市中区根岸台
開場：1866年9月 閉場：1943年6月10日

1889年（明治22年）から使用されたメインスタンドは様々な改築を経たのち、関東大震災で半壊し、新たなスタンドの建設が急務となった。設計をJ・H・モーガンに依頼。高い耐震性、格調の高い仕様、左右のコーナーを見やすいような機能的に優れた馬見所という条件をクリアし、観覧席からコース全体がよく見渡せるようになった。港や富士山が見渡せる眺望の良さや設備の豪華さから「東洋一」とも評され、のちに全国に作られる競馬場のモデルにもされた。

横浜郵船ビル



所在地：横浜市中区海岸通3-9
建築年代：1936年
資料館開館1993年 博物館開館2003年（大規模改修）
設計：和田順顕建築事務所 施工：大林組

1936年に竣工したギリシャ・コリント式のビル。最大の特徴は、古典主義様式建築の華である正面の16本にわたる大オーダーのコリント式列柱。税関と並ぶ海岸通りの最重要建物のひとつ。

旧横浜生糸検査所事務所



所在地：横浜市中区北仲通5-57
建築年代：1926年
設計：遠藤於菟 施工：大林組

設計は、横浜正金銀行本店施工管理、三井物産横浜支店設計を担当した横浜ゆかりの建築家、遠藤於菟による。北仲エリアの三井不動産レジデンシャルの再開発において、原型をとどめた帝蚕倉庫群の唯一の建物。現在は2～3Fがクリエイターのシェアスタジオとして活用されている。



ブラフ18番館 [旧カトリック山手教会司祭館]



横浜市中区山手町16（山手・イタリア山庭園内）[旧所在地：山手町45]
建築年代：1993年移築
設計・施工：不詳

当初は外国人用住宅として建てられたが、戦後、カトリック山手教会の司祭住宅として使用されてきた。平成3年に解体された後、その部材は横浜市の所有となり、同じ山手のイタリア山庭園に移築再建され、資料館として第二の人生を歩んでいる。
横浜市認定歴史的建造物

ベーリック・ホール



横浜市中区山手町72（元町公園内）
建築年代：1930年
設計：H・モーガン 施工：不詳

現存する山手外国人住宅の中で最大規模をもつスパニッシュ・スタイルの西洋館である。アーチ型の窓や壁泉など多彩な意匠をもつ。
横浜市認定歴史的建造物

カトリック山手教会聖堂



所在地：横浜市中区山手町44
建築年代：1933年
設計：J・スワガー 施工：関工務店

設計者J・スワガーは、チェコ出身でA・レーモンドと共に活動をしていた建築家。西欧中世を思い起こさせるネオゴシック風の外観が特徴的。
横浜市認定歴史的建造物

横浜指路教会



所在地：横浜市中区尾上町6-85
建築年代：1995年曳家／2003年復元 [旧建物は1929年]
設計：都市基盤整備公団神奈川地域支社・損総合計画事務所 [旧建物は西村好時、清水組設計部]
施工：竹中・清水・戸田JV [旧建物は清水組]

日本近代様式建築完成期の建物で、三角形の敷地を巧みに生かし、先端にトスカナ式オーダーの列柱を並べた半円形のバルコニーを持つ特色ある建築である。平成7年にバルコニー部分を曳家した後、横浜アイランドタワーの高阻棟と接続する形で復元された。
横浜市認定歴史的建造物

横浜山手聖公会



所在地：横浜市中区山手町235
建築年代：1931年 [平成2（1990）年3月]
設計：H・モーガン 施工：不詳

カトリック山手教会聖堂と並んで山手の代表的ランドマーク。設計者モーガンは、横浜に多くの作品を残すアメリカ人建築家。
横浜市認定歴史的建造物

関東大震災



1923（大正12）年9月1日に発生した「関東大震災」は、「相模湾」北西部を震源とするマグニチュード7.9の巨大地震であった。横浜は東京より震源に近く、また中心部の多くが埋立地であったこともあり、大きな被害を受けた。写真は震災で廃墟と化した「横浜湾岸」。沖合には旧・日本海軍の巡洋艦も停泊している。
写真提供：横浜市安全管理局